

第3回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 ワークショップ 概要書

ワークショップ名	患者中心の医療のやり方
----------	-------------

開催の目的	患者中心の医療の枠組みについて理解を深め、日々の診療の実践に生かすことが目的です。忙しい日常の中でも行えるコツを皆さんと共有できればと思います。								
対象	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">■診療所医師</td> <td style="width: 25%;">■病院勤務医</td> <td style="width: 25%;">■初期研修医</td> <td style="width: 25%;">■後期研修医</td> </tr> <tr> <td>■歯科医師</td> <td>■薬剤師</td> <td>■看護師</td> <td>■学生</td> </tr> </table>	■診療所医師	■病院勤務医	■初期研修医	■後期研修医	■歯科医師	■薬剤師	■看護師	■学生
■診療所医師	■病院勤務医	■初期研修医	■後期研修医						
■歯科医師	■薬剤師	■看護師	■学生						
定員	定員： 42名 ※机の配置は全て島組（6人/1島）								
講師名	企画責任者 松下 明（岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック） 講師 木島 庸貴（岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック） 講師 村田 亜紀子（岡山家庭医療センター奈義ファミリークリニック）								
概要	<p>患者中心の医療は各病院が唱えるお題目ではなく、カナダの西オンタリオ大学で開発された実践的な臨床技法です。時間的制約のあるなかで、患者の背景を探り、共通基盤に立ちながら、医療者からの押し付けでなく、患者自身が主体的に行動変容を起こせる方法論を学びましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者中心の臨床技法が生まれた歴史的背景と研究で証明された成果 2) 6つのコアコンポーネントとは？ 3) 症例についてのグループワーク 4) 実践する上でのコツと注意点 5) デモンストレーションによるより深い理解 6) 参加者からの感想の共有 								